

資金分配団体 審査会議 議事概要

新型コロナウイルス対応緊急支援助成〈随時募集〉第1次

1. **日時**：2020年10月26日（月） 開会16：00－閉会17：30
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom
3. **審査委員（敬称略）**
 - ・ 深尾昌峰（龍谷大学政策学部教授）[委員長・議長]
 - ・ 功能聡子（ARUN 合同会社代表）
 - ・ 治部れんげ（ジャーナリスト）
 - ・ 高原康次（グロービス大学院 講師）
 - ・ 町井則雄（株式会社シンカ 代表取締役社長）
 - ・ 山内亮太（株式会社 ESCCA 代表取締役）
 - ・ 米田佐知子（子どもの未来サポートオフィス代表）
 - ・ 審査事務局：JANPIA

〈手元審査を実施した委員（審査会議は欠席）〉

- ・ 菅野拓（京都経済短期大学・地理学者）
- ・ 山内明子（生活協同組合コープみらい常務理事）

4. 議題

新型コロナウイルス対応緊急支援助成〈随時募集〉第1次の審査

5. 申請の状況

5事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 8名の出席により、審査委員長が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告による確認を行い、利益相反関係がないことを確認した。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・特になし

審査

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■ 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム フォーム

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 特定非営利活動法人 ACOBA

- ・ 専門性を是非この事業にうまく組み込んだ形で成果につなげていただきたい。最終的な支援対象は「居場所をなくしている子どもたち」「子どもの親や生活困窮した大人たち」であって、NPO 等への支援はそのための手段であることをご理解いただき実行団体を公募・選考・支援いただきたい。

■ 公益財団法人佐賀未来創造基金

- ・ 本事業の成果創出にあたっては、コンソーシアムが維持され機能することが重要と考えますので、コンソーシアム内部でのコミュニケーションを引続き十分に取っていただき、その効果を最大限生かされるような事業実施に期待する。各地区の災害の現状の理解を精緻に行うことが重要であると考えますので、そこでの丁寧なご対応もお願いしたい。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 2 事業

申請のあった事業について、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益社団法人日本環境教育フォーラム
- 認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会 (Jsarp)

以上